



進路指導カウンセラー：
Kailie Kirkham氏

生徒の学び、進路、成長を複合的にサポート

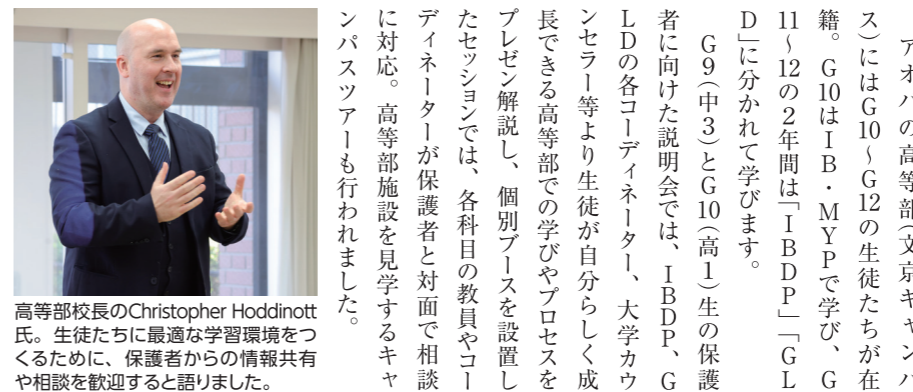
アオバの大学カウンセリングでは、学業と将来のキャリア、そして、社会的・感情的発達という3つの側面から生徒の成長と進路をサポートしています。進路については、IBDP、GLDのコーディネーターと協力しながら、GLDで、生徒それぞれに最適な道が開けるよう、アドバイスをしています。また、世界各国の大学代表者を招いたカレッジフェアを定期的に開催。日本の大学や海外大学ともパートナーシップを結び、生徒が大学の担当者と直接話す機会を設けて、自己の将来をきちんと見据えられる進路選択への意識を高めています。海外・国内大学の情報提供のほか、各大学への出願準備、エッセイや書類作成のサポートなど、大学進学プロセス全体を支援します。

「生徒とは定期的に面談を行い、IBDPとGLD、プログラムに合わせ、必要な情報を提供しています。保護者の方へは、オンラインで説明会を行い、相談にも応じています」。



高等部の学びと進路、サポートについて保護者向け説明会を開催

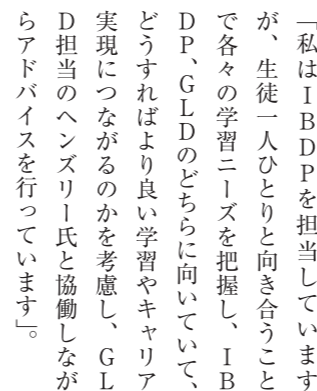
アオバジャパン・インターナショナルスクール(以下、アオバ)は、幼稚園から高等部までIB(国際バカロレア)の認定を受けたワールドスクール。高等部のある文京キャンパスでは、G9(中3)とG10(高1)の生徒の保護者に次の学年へ進級していく準備として、G11(高2)から選択履修する「国際バカロレア・ディプロマプログラム(IBDP)」、「グローバルリーダーシップ・ディプロマ(GLD)」の学習内容や進路等のサポート体制について説明された保護者向けイベントをレポートします。



高等部校長のChristopher Hoddinott氏。生徒たちに最適な学習環境をつくるために、保護者からの情報共有や相談を歓迎すると語りました。

アオバの高等部(文京キャンパス)にはG10～G12の生徒たちが在籍。G10はIB・MYPで学び、G11～12の2年間は「IBDP」「GLD」に分かれて学びます。

G9(中3)とG10(高1)生の保護者に向けた説明会では、IBDP、GLDの各コーディネーター、大学カウンセラー等より生徒が自分らしく成長できる高等部での学びやプロセスをプレゼン解説し、個別ブースを設置したセッションでは、各科目の教員やコーディネーターが保護者と対面で相談に対応。高等部施設を見学するキャンパスツアーも行われました。



「私はIBDPを担当していますが、生徒一人ひとりと向き合うことで各々の学習ニーズを把握し、IBDP、GLDのどちらに向いていて、どうすればより良い学習やキャリア実現につながるのかを考慮し、GLD担当のヘンズリー氏と協働しながらアドバイスを行っています」。

IBDP・G10段階から各生徒の学習ニーズを把握しサポート

IBDPコーディネーターは、IBDPの科目選択等に関するアドバイスを行うだけでなく、MYPのカリキュラムで学ぶG10(高1)の段階から、生徒の興味や関心にあった学習や進路の実現ができるよう、きめ細かな準備を行っています。



IBDPコーディネーター：
Gemma Shutler氏

GLD：個別カリキュラムで学び、IBDP科目も選択可

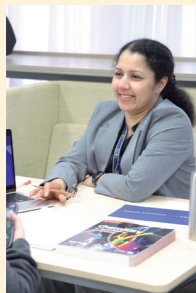
GLDの大きな特徴は、生徒一人ひとりの興味・関心に応じて、学ぶ内容や時間割を柔軟に設計できる点にあります。

また、IBDP科目の中に学びたい分野があればその科目を選択でき、校外でのインターンシップも単位として認められます。将来の進路や学習分野が明確な生徒にとって最適な学びを実現でき、教員は探究活動から大学出願に向けた質の高いポートフォリオ制作まで丁寧にサポートしています。アオバ生のやりたいことを見つめ、多様な進路の実現に向けて後押しします。



GLDコーディネーター：
Nathan Hensley氏

進路希望に合わせて科目ごとに柔軟な学びを提供



化学教科担当：
Kakkat Seena氏

IBDPでの履修科目は、進学先によって入学要件が異なるため、それぞれの大学・学部に行くかを考えたうえで、決める必要があります。

IBDPの科目は、SL(Standard Level)とHL(Higher Level)があり、例えば、HLの化学の履修を求めている学部に出願する場合、生徒は2年間HLの授業をとらなければなりません。

IBDPの化学は、実験・研究スキルの習得とアカデミックな学習が一体となった実験科学の科目なので、授業では実験が欠かせません。アオバでは、それぞれの生徒の進学希望の大学出願要件に合わせてるように、実験方法や学び方をコーディネートしています。

自分の言葉で伝えられるプレゼン力をもつ高等部生徒

インフォメーション・ブースでは、高等部生徒によるプレゼンも実施。上海のギャラリーでのインターンシップやIBDPのCAS(Creativity, Activity, Service)の活動等、自ら課題をみつけて探究し、考えをまとめて自分の言葉で発表するというアオバでの学びの成果が見られました。



子ども食堂の計画・運営を行った生徒たちのプレゼンの様子。

将来に幅広い選択肢がある卒業後の進路実現

アオバの生徒たちは、将来に向けて、自分たちのやりたいことを自分の力で切り開いていけるだけの知識と能力を養い、卒業後、様々な分野への進路実現を果たしています。大学進学に関しては、日本の大学はもちろん、世界トップ10に入る大学へ進学する生徒も多くいます。

進学先大学例：カリフォルニア大学バークレー校、インペリアル・カレッジ・ロンドン大学、シカゴ大学、トロント大学、ユニヴァーシティ・カレッジ・ロンドン、ミシガン大学アナーバー校、カーネギーメロン大学、ワシントン大学、エディンバラ大学、ニューヨーク大学、香港大学、メルボルン大学、アムステルダム大学、カレル大学、東北大学、東京大学、大阪大学、名古屋大学、筑波大学、国際基督教大学、慶応義塾大学、早稲田大学、東京医科歯科大学等、日本国内を含む世界各国有数の大学に合格、進学実績あり。

アオバ卒業生
全合格・進路実績は
HPにて公開中▶

